

第72回 秋田県消防大会

第72回 秋 田 県 消 防 大 会



★次回開催支部あいさつ
澤口小坂町消防団長



題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

令和元年度全国統一防火標語
ひとつずつ
いいね！で確認
火の用心

第七二回秋田県消防大会が、六月二日(土)、由利本荘市文化交流館カダレにおいて、秋田県副知事堀井啓一様など多数の来賓を迎え、県内各地域から消防職・団員約六〇〇名が参加して行われました。

大会では、中田秋田県消防協会長、長谷部由利本荘市長の挨拶の後、来賓を代表して堀井副知事、加藤秋田県議会議長が祝辞を述べられました。

令和元年度消防功労者表彰では、八事業所が優良事業所として知事表彰を受賞されました。

また、第一五回消防団員意見発表会では、各支部から選抜された九名の方々が、これからの消防団活動に対する提言等を発表しました。

続いて、アトラクションとして、「象潟九十九島太鼓」の勇壮な演奏と「民舞最上谷会」による優雅で楽しい踊りが披露されました。

大会宣言は、周防由利本荘市消防団長が、次回開催支部挨拶は、鹿角支部を代表し澤口小坂町消防団長がそれぞれ行い、大会は成功裏のうちに幕を閉じました。

主催者あいさつ(要旨)



秋田県消防協会
会長 中田 潤

本日は、秋田県副知事堀井啓一様をはじめ、多くのご来賓のご列席を頂き、このように盛大に開催できまことを心から御礼申し上げます。

皆様方には、常日ごろから昼夜を問わず、消防活動に献身的にご尽力いただいておりますことに対し、深く敬意を表します。

平成の三十年は、大規模地震や集中豪雨、巨大台風など、多様化する自然災害のほか、消火に何日も要するような大火が全国で発生しました。

県内でも、昨年五月の大雨により家屋の浸水など、多くの被害が発生したのは記憶に新しいところです。

このように、いつ発生するか予測のつかない災害から、県民の生命と財産をまもるため、私たち消防人は、高い士気の下に訓練を重ねるとともに、地域との連携をさらに強め、より強靱な組織を作って、あらゆる災害や危機に全力で取り組んでいかなければと、決意を新たにしているところであります。

当協会といたしましても微力ながら、なお一層努力してまいりますので、皆様には、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

開催地あいさつ (要旨)



由利本荘市長
長谷部 誠

第七二回秋田県消防大会が、多数のご来賓の皆様と、全県各地から消防団員や関係者をお迎えして、ここ由利本荘市で盛大に開催されましたことをお喜び申し上げます。

先日発生した山形県沖を震源とする地震では、多くの消防団員に警戒活動にあたっていただきました。

昼夜を問わず活躍されている皆様に、深甚なる敬意と感謝を表します。

近年、少子高齢化や就業構造の変化により、全国的に消防団員数の減少が続いており、地域防災力の低下が懸念されております。

本市では、機別別団員や消防団協力事業所表示制度を導入しており、本年四月からの消防団応援の店事業には、多くの賛同が得られました。

こうした取組が、地域を挙げての防災力の充実強化につながるものと期待しております。

火災のみならず、さまざまな災害に対応する消防団への期待は、ますます大きなものとなっております。

地域防災力の中核として、消防団員の皆様により一層活躍されますことを祈念申し上げ、歓迎のあいさつといたします。

祝 辞 (要旨)



秋田県副知事
堀井 啓一

第七二回秋田県消防大会の開催を心からお喜び申し上げます。

皆様には、日ごろ県民の生命と財産を守るためにご尽力を頂いていることに対し、心から感謝を申し上げます。

今週発生した地震では、当地も大きな揺れを観測しました。まだ余震が懸念されており、皆様のお力をお借りしながら、被害が拡大しないよう努めてまいります。

今年は、昨年に比べ火災件数が増えており、特に少雨に伴う原野火災が多いため、住民に対して、野焼き防止の啓発をお願いします。

また、死者も多いことから、冬を迎える前に、皆様とともに火災予防に取り組んでまいりたいと思っております。

今年一月、能代市で任務遂行中の消防職員二名が殉職する不幸な火災がありました。こうしたことが二度と起きないように、重要な任務のなかにあっても、自らの安全確保に万全を期していただくようお願いいたします。

今後も、県民の生命・財産を守るため、皆様のご尽力をお願い申し上げます。お祝いの言葉といたします。

祝 辞 (要旨)



秋田県議会議長
加藤 鉦一

第七二回秋田県消防大会が、全県各地から多数の皆様のご出席のもと、このように盛大に開催されましたことを、心からお喜び申し上げます。

皆様には、常日ごろから火災をはじめ、あらゆる災害に対し昼夜を問わず献身的なご尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

近年、全国的に災害が頻発しており、その規模も広域化しております。

今週、この由利本荘市で震度五を観測するなど、広範囲にわたる地震に見舞われました。

このような予期せぬ災害への対応は、常備消防はもとより、地域に精通し、速やかに対応できる消防団の活動が不可欠であります。

皆様におかれましては、地域防災力の要として、県民の生命と財産を守る取組に、なお一層のお力添えを頂きますようお願いいたします。

県議会としても、皆様のご意見を伺いながら、消防防災体制の更なる充実強化に向け、積極的に取り組んでまいります。

結びに、皆様のご健勝と、更なるご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。

【アトラクション】



民舞最上谷会



象潟九十九島太鼓



民舞最上谷会

第15回 消防団員意見発表会

この意見発表会は、消防団員が日ごろの消防団活動で感じた事柄や経験した事例などの発表を通じ、消防活動のあるべき姿や消防人としての役割を再認識し、これからの活動をより充実したものにすることを目的に平成17年度から実施しているものです。

今回も、各支部から選出された9名の団員が意見を発表しました。

なお、発表された意見は、「消防秋田」8月号から順次紹介します。



発表者とテーマ (発表順)

佐々木 恵子	にかほ市消防団 部長	「消防団員としての今までの私 そしてこれからの私」
本間 満	美郷町消防団 分団長	「消防団のお仕事」
土谷 久男	横手市消防団 部長	「消防団での活動について」
石垣 亮	羽後町消防団 副分団長	「私の体験談とこれからの消防団活動について思うこと」
田口 義博	鹿角市消防団 分団長	「全国への思い」
鎌田 敏	大館市消防団 副分団長	「経験をつないで地域を守る」
川村 忠寛	八峰町消防団 団員	「火をつける？消防団員」
石井 巧	五城目町消防団 分団長	「私の消防人生」
山内 満	秋田市消防団 班長	「サラリーマン化が進む中での効果的な活動方策について」

令和元年度 消防功労者表彰

■優良事業所表彰

優良事業所表彰は平成9年度から実施され、受賞事業所は今年度で154事業所となりました。

表彰された事業所は相当数の消防団員が在職し、地域の消防活動に積極的に取り組んでいるなど、多年にわたって地域の消防団活動に貢献してきたことが評価されたものです。

受賞されました事業所には、今後ますますの消防団活動へのご協力をお願いいたします。



受賞事業所の概要

- 株式会社 **かなでん**
鹿角市八幡平字高見田45-1
代表取締役 金澤 宗芳
電気工事業
事業所人員 4 1 名中消防団員 3 名
- 株式会社 **秋田新電元**
由利本荘市大浦字上谷地114-2
代表取締役社長 松尾 博文
半導体素子製造業
事業所人員 7 6 2 名中消防団員 6 8 名
- 秋田ルビコン株式会社
由利本荘市東由利館合上ノ代1-1
代表取締役 赤羽 宏明
電気機械器具製造業
事業所人員 2 5 0 名中消防団員 3 0 名
- 菊池建設株式会社
由利本荘市大内三川字三川20
代表取締役 橋本 一康
総合建設業
事業所人員 9 4 名中消防団員 1 4 名
- 矢島木材乾燥株式会社
由利本荘市矢島町七日町字下山寺42-2
代表取締役 佐藤 仁明
木質フローリング製造業
事業所人員 4 0 名中消防団員 1 0 名
- 山科建設株式会社
由利本荘市矢島町七日町字曲り淵158-1
代表取締役 山科 優
総合建設業
事業所人員 1 1 5 名中消防団員 9 名
- 佐藤建設株式会社
由利本荘市鳥海町上笹子字沖23-4
代表取締役 佐藤 安隆
総合建設業
事業所人員 2 8 名中消防団員 5 名
- 磐田電工株式会社 **秋田工場**
由利本荘市岩城赤平字川ノ上267
代表取締役 櫻井 一幸
製造業
事業所人員 7 8 名中消防団員 7 名

大会宣言(全文)



周防 彦宗
団長

由利本荘にかほ支部
由利本荘市消防団

地域住民の安全・安心な暮らしを確保するため、火災の防ぎよ活動はもとより、近年複雑多様化する災害への対応と、私たちが果たすべき役割はますます大きくなってまいります。

本日ここに、第七二回秋田県消防大会が開催され、県内の消防関係者が一堂に会して、われら消防人が直面している現状を再認識し、決意を新たにしたいところであります。

地域に根付く郷土愛、歴史輝く崇高な消防精神と強固な団結のもと、地域防災力の中核として、地域住民からの信頼と負託に応えることをここに宣言します。

令和元年六月二二日



象潟九十九島太鼓準備中の一コマ

令和元年度 定時評議員会 (公財) 日本消防協会

六月一四日(金)、日本消防会館(東京都港区虎ノ門)において、令和元年度日本消防協会定時評議員会が開催され、平成三〇年度事業報告及び決算などが全会一致で承認されました。

来賓として、黒田武一郎消防庁長官があいさつされました。

また、協議事項では「防災・減災推進のなか、さまざまな情報環境をさらに整備するために」



黒田消防庁長官



秋本日消会長

「用について」など三件について異議なく承認されたほか、「新日本消防会館の建設について」など五件について報告がありました。

女性消防団ネットワーク会議

開催準備委員会

六月二五日(火)、ルポールみずほ(秋田市山王)において、令和元年度女性消防団ネットワーク会議「第一回開催準備委員会」を開催しました。

この委員会は、ネットワーク会議をより内容の充実したものにすため、主役である女性消防団員の意見を反映させることを



を目的に、平成二九年度から開催しているものです。

今年度は九名の委員のうち四名が交代し、全員出席のもと、開催日時や会議の内容について協議

しました。

七月三〇日(火)

に二回目の委員会を開催し会議の内容について、引き続き検討することとしました。



消防実務担当者会議

(一財)秋田県消防協会

六月七日(金)、ルポールみずほにおいて、市町村の担当者など五〇名が出席し、消防実務担当者会議を開催しました。

会議では、日本消防協会の各種共同事業について説明したほか、当協会の令和元年度事業計画や日ごろの実務に関する留意事項について説明しました。



旗ヶ川染工場
専門染料
旗ヶ川染工場
旗ヶ川染工場
旗ヶ川染工場

寺田染工場

横手市清川町 ☎32-0416

令和元年度 防火ポスターコンクール募集要項

1. 目的 少年少女の防火意識を高めるとともに、一般県民の防火思想の普及啓発を図ることを目的とする。
2. 主催 秋田県・一般財団法人 秋田県消防協会
3. 後援 秋田県教育委員会・秋田魁新報社・NHK秋田放送局
4. 募集規定
- (1) ポスター
 - イ 色数、表現方法は自由とし、防火思想の普及に適するものであること
 - ロ 大きさはB3版又は画用紙四つ切大(54cm×38cm)程度であること
 - ハ 一人一点とする
 - (2) 応募資格 県内の小・中学校の児童生徒
 - (3) 募集期間 2019年9月1日～12月31日(12月31日の消印有効)
 - (4) 審査 学識経験者・秋田魁新報社・NHK秋田放送局・秋田県(一財)秋田県消防協会で構成する審査会において行います。
 - (5) 入賞発表 2020年2月上旬頃、秋田魁新聞紙上にて発表
 - (6) 賞 次の入賞者には、学校を通じて賞状と図書カードを贈呈します。
小学生の部 一席1名、二席2名、三席3名、佳作10名まで
中学生の部 一席1名、二席2名、三席3名、佳作10名まで
一席5,000円 二席3,000円 三席2,000円 佳作1,000円
5. 募集条件
- (1) 応募は未発表の作品に限る。
 - (2) 応募作品は原則として返却できません。(返却を希望される場合、選外作品に限り送料着払いにてお返ししますので、事前にお申し出ください)
入賞作品の著作権は主催者に帰属します。
 - (3) 募集規定に違反した作品は採用いたしません。
 - (4) 作品には市町村名、学校名、学年、氏名(ふりがな)、性別を記入した名札(たて6cmよこ20cm程度)を作品の右下に必ず貼り付けてください。
【記入例】 ※ふりがなは必ずご記入ください。

市町村名	学 校 名	
	(ふ り が な)	性
学 年	氏 名	別

6. ポスターの作製
一席に入賞した作品どちらか1点で防火ポスターを作製しますので、**作者の学校名・学年・氏名をポスターに記載することを予めご了承ください。**
7. 送り先 〒010-0951 秋田市山王4-1-2 秋田地方総合庁舎5階
一般財団法人 秋田県消防協会あて お問合せ先 TEL 018-867-7320
※ 作品を送付される場合、送料は応募者をご負担ください。



平成31年度消防団員数の概要

秋田県総合防災課では、この度平成31年4月1日現在の消防団員数の速報値を集計しましたので、その概要をお知らせします。

1. 消防団員数は16,275人

消防団員数は減少傾向にあり、前年同期比378人減の16,275人となりました。
条例定数充足率は87.72%、被雇用化率（サラリーマン化率）は77.9%となっています。

	H26. 4. 1	H27. 4. 1	H28. 4. 1	H29. 4. 1	H30. 4. 1	H31.4.1
消防団員数	17,491人	17,320人	17,177人	16,900人	16,653人	16,275人
前年同期比	- 53人	- 171人	- 143人	- 277人	-247人	-378人
条例定数充足率	89.32%	88.68%	89.86%	88.92%	88.26%	87.72%

2. 女性消防団員は6人増の390人

女性消防団員は年々増加しており、前年同期比6人増の390人となりました。
横手市内の消防団の統合により、消防団数は19団となっています。

	H26. 4. 1	H27. 4. 1	H28. 4. 1	H29. 4. 1	H30. 4. 1	H31.4.1
女性消防団員数	317人	324人	355人	362人	384人	390人
前年同期比	+ 69人	+ 7人	+ 31人	+ 7人	+ 22人	+ 6人
女性団員採用消防団数	20団	21団	21団	22団	25団	19団

3. 機能別団員は14消防団、817人

機能別団員制度が県内に導入されたのは平成19年度からですが、年々増加しており、前年同期比101人増の817人となりました。

	H26. 4. 1	H27. 4. 1	H28. 4. 1	H29. 4. 1	H30. 4. 1	H31.4.1
機能別団員数	287人	351人	512人	594人	716人	817人
前年同期比	+ 79人	+ 64人	+ 161人	+ 82人	+122人	+101人
機能別団員制度導入消防団数	6団	7団	8団	9団	12団	14団



消防団員募集

地域の安心と安全を守るために、
あなたにもできることがあります。



消防団・消防団員とは

消防団は、消防本部や消防署と同様に市町村の消防機関の一つです。
消防団員は、本業を持ちながらも「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づいて、地域の安全・安心を確保するために活動する非常勤特別職の地方公務員です。

消防団員の減少で、地域防災力の低下が懸念

本県の消防団員数は、昭和31年には3万6千人が在籍していましたが、年々減少し続け、平成31年4月1日現在には半分を割り込み、1万

6,275人となりました。

地域の消防防災力の低下が懸念されています。

多くの方の消防団入団を期待

消防団は、地域防災の中核的な存在で、地域の安全・安心を確保するために大変重要な組織です。

一人でも多くの方に、消防団活動に参加いただけることを期待しています。

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕カギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トーハツポンプ | シバウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

平成31年度消防団員数 (平成31年4月1日現在)

(単位:人、%)

地域名	消防団名	条例 定数	実 団 員 数				定 数 充足率	女 性 団員率	前年同期比較	
			総数	男性	女性	うち 機能別 団員数			団員数	増減数
鹿 角	鹿角市	892	813	783	30	81	91.14	3.69	822	- 9
	小坂町	170	132	130	2	0	77.65	1.52	138	- 6
	地域計	1,062	945	913	32	81	88.98	3.39	960	- 15
北秋田	大館市	1,180	1,034	941	93	58	87.63	8.99	1,077	- 43
	北秋田市	760	649	614	35	0	85.39	5.39	664	- 15
	上小阿仁村	100	81	81	0	0	81.00	0.00	83	- 2
	地域計	2,040	1,764	1,636	128	58	86.47	7.26	1,824	- 60
山 本	能代市	850	692	678	14	69	81.41	2.02	696	- 4
	藤里町	125	111	111	0	0	88.80	0.00	112	- 1
	三種町	507	436	430	6	60	86.00	1.38	444	- 8
	八峰町	330	255	250	5	19	77.27	1.96	262	- 7
	地域計	1,812	1,494	1,469	25	148	82.45	1.67	1,514	- 20
南秋田	男鹿市	820	743	728	15	39	90.61	2.02	719	24
	潟上市	508	446	427	19	0	87.80	4.26	453	- 7
	五城目町	205	151	144	7	0	73.66	4.64	159	- 8
	八郎潟町	85	72	72	0	0	84.71	0.00	74	- 2
	井川町	145	120	115	5	3	82.76	4.17	114	6
	大潟村	67	60	60	0	12	89.55	0.00	61	- 1
	地域計	1,830	1,592	1,546	46	54	86.99	2.89	1,580	12
秋 田	秋田市	2,100	1,810	1,784	26	128	86.19	1.44	1,861	- 51
由 利	由利本荘市	1,802	1,610	1,598	12	197	89.35	0.75	1,640	- 30
	にかほ市	580	534	522	12	64	92.07	2.25	555	- 21
	地域計	2,382	2,144	2,120	24	261	90.01	1.12	2,195	- 51
仙 北	大仙市	1,375	1,169	1,138	31	0	85.02	2.65	1,216	- 47
	仙北市	630	558	543	15	27	88.57	2.69	575	- 17
	美郷町	405	346	346	0	11	85.43	0.00	347	- 1
	地域計	2,410	2,073	2,027	46	38	86.02	2.22	2,138	- 65
横 手	横手市	2,500	2,272	2,243	29	18	90.88	1.28	2,369	- 97
雄 勝	湯沢市	1,705	1,590	1,566	24	31	93.26	1.51	1,599	- 9
	羽後町	513	424	424	0	0	82.65	0.00	443	- 19
	東成瀬村	200	167	157	10	0	83.50	5.99	170	- 3
	地域計	2,418	2,181	2,147	34	31	90.20	1.56	2,212	- 31
計	25消防団	18,554	16,275	15,885	390	817	87.72	2.40	16,653	- 378

支部情報アラカルト

消防と子どもの集いを開催

令和元年五月五日(日)、秋田市の八橋運動公園において、子どもの日恒例の「消防と子どもの集い」を開催しました。令和最初の開催となった当日は好天に恵まれ、会場は多くの来場者で賑わいました。

初期消火や応急手当、ちびっこレスキューのほか、ミニ制服やミニ防火衣の着せ替えコーナーなど、子どもたちに火災予防や消防活動について関心をもってもらうための体験イベントを行いました。



会場には、はしご車や救急車、救助工作車などの常備消防車両に加え、消防団に配置されている最新の救助資機材搭載型消防ポンプ自動車も展示され、来場者の関心を集めていました。

親子で団員用の防火衣を着装して記念撮影するなど、最新の消防団車両や資機材に触れ、消防団員を身近に感じることで、入団促進はもとより消防団に対する市民の理解を広めることができました。

秋田市支部では、今後も常備消防と連携し、市民と消防団が直接触れ合う積極的な広報活動を展開していきたいと考えています。



〔情報提供〕秋田市支部

火災の発生状況

速報値

(秋田県総合防災課調べ)

	令和元年		平成30年			同期比較	
	6月	累計	6月	累計	年計	6月	累計
建 物	16	100	7	80	166	9	20
林 野	3	26	2	12	14	1	14
車 輜	2	13	2	20	39	0	- 7
そ の 他	8	68	6	43	72	2	25
合 計	29	207	17	155	291	12	52
死 者 数	1	12	0	10	18	1	2
負 傷 者 数	7	39	4	23	46	3	16

協会事務局お休みのお知らせ

今年のお盆休みは八月一三日(火)から一五日(木)までとし、協会事務局を休ませていただきますので、よろしくお願ひします。



地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル3F FAX 018 (824) 3651

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361